

ご意見・ご質問	市の考え方																																																
<p>1 比較対象団体の下水道使用料改定時期と、その内容(使用料単価と汚水処理単価の関係についての考え方を含む)について知りたい。</p>	<table border="1" data-bbox="548 228 2112 432"> <thead> <tr> <th>基本情報(単位)/団体名</th> <th>町田市</th> <th>鹿児島市</th> <th>松戸市</th> <th>船橋市</th> <th>藤沢市</th> <th>奈良市</th> <th>明石市</th> <th>相模原市</th> <th>横浜市</th> <th>川崎市</th> <th>立川市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現行使用料の適用年月</td> <td>1999年7月</td> <td>2000年4月</td> <td>2007年4月</td> <td>2020年7月</td> <td>2023年7月</td> <td>2020年5月</td> <td>2006年4月</td> <td>2013年4月</td> <td>2001年4月</td> <td>2004年4月</td> <td>1997年6月</td> </tr> <tr> <td>平均改定率(%)</td> <td>8.4</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>6.4</td> <td>12.5</td> <td>20.0</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>20㎡の月額使用料(円)※税込</td> <td>2,068</td> <td>1,837</td> <td>2,468</td> <td>2,211</td> <td>2,487</td> <td>2,893</td> <td>2,197</td> <td>2,036</td> <td>2,035</td> <td>2,156</td> <td>1,408</td> </tr> </tbody> </table> <p>比較対象団体の現行使用料に関する基本情報は、上表のとおりです。2020年以降に下水道使用料を改定した3市については平均改定率も記載しました。また、その3市に改定時の考え方について問い合わせたところ、以下の回答を得ました。</p> <p><b>【A市】</b>          ・使用料改定検討時の汚水処理原価は185円、使用料単価は135円であり、汚水処理原価＝使用料単価となるような改定を行うと、一度に大幅な値上げすることになり市民への影響が大きいため、2028年以降に経費回収率が100%を超えるように、3回にわたり段階的に使用料改定していく、という結論になった。</p> <p><b>【B市】</b>          ・下水道中期経営計画を策定する際に、前期5年間は経費回収率が100%を超えるように使用料改定をするという方向になった(算定期間5年)。初年度102%、5年目100%となり、6年目以降は100%を下回る見込みである。</p> <p><b>【C市】</b>          ・汚水処理単価が135円の見込みだったため、使用料単価も135円になるような改定をした。          ・資金ショートしてからの急な値上げや、頻繁な値上げを行うよりも、改定率の高さに怯むことなくしっかり値上げしたほうが良いと委員から意見があった。          ・原因を分析していないが、経費回収率の実績は見込み以上の数値になった。</p> <p>引き続き、比較対象団体の下水道使用料改定に関する情報や資料を参考にしていきたいと考えております。</p>	基本情報(単位)/団体名	町田市	鹿児島市	松戸市	船橋市	藤沢市	奈良市	明石市	相模原市	横浜市	川崎市	立川市	現行使用料の適用年月	1999年7月	2000年4月	2007年4月	2020年7月	2023年7月	2020年5月	2006年4月	2013年4月	2001年4月	2004年4月	1997年6月	平均改定率(%)	8.4	-	-	6.4	12.5	20.0	-	-	-	-	-	20㎡の月額使用料(円)※税込	2,068	1,837	2,468	2,211	2,487	2,893	2,197	2,036	2,035	2,156	1,408
基本情報(単位)/団体名	町田市	鹿児島市	松戸市	船橋市	藤沢市	奈良市	明石市	相模原市	横浜市	川崎市	立川市																																						
現行使用料の適用年月	1999年7月	2000年4月	2007年4月	2020年7月	2023年7月	2020年5月	2006年4月	2013年4月	2001年4月	2004年4月	1997年6月																																						
平均改定率(%)	8.4	-	-	6.4	12.5	20.0	-	-	-	-	-																																						
20㎡の月額使用料(円)※税込	2,068	1,837	2,468	2,211	2,487	2,893	2,197	2,036	2,035	2,156	1,408																																						
<p>2 有収率が100%である奈良市はどのような不明水対策をしているのか。</p>	<p>・奈良市の2023年度の「有収率」は100%ではありませんが、年間有収水量は34,042,941㎡、年間総処理水量は34,0440,44㎡であり、不明水量は1,103㎡存在しています。しかし、ごく微量であるため、「有収率」の算出上、小数点以下第4位未満を四捨五入して100%となっている状況です。本年1月17日に、奈良市企業局経営企画課のご担当者様に電話にて確認したところ、『奈良市では、特段実効性の高い不明水対策(雨天時浸入水対策を含む)を実施しているということではなく、2023年度の「有収率」については、偶然このような結果が出たとしか答えようがない』との回答でした。このため、残念ながら実効性の高い不明水対策などの情報を得ることはできませんでした。</p>																																																

	ご意見・ご質問	市の考え方																																			
3	2021年度に作成した人口推計と実績との乖離はどの程度か。	<p style="text-align: center;">未来づくり研究所 市民課公表 (2021年10月作成)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>推計(人) (A)</th> <th>実態(人) (B)</th> <th>実態と予測の差 (B-A)</th> <th>乖離(%) 1-(A)÷(B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2021/1/1</td> <td></td> <td>429,152</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2022/1/1</td> <td>429,569</td> <td style="background-color: yellow;">430,385</td> <td>816</td> <td>0.19%</td> </tr> <tr> <td>2023/1/1</td> <td style="background-color: yellow;">430,000</td> <td style="background-color: yellow;">430,831</td> <td>831</td> <td>0.19%</td> </tr> <tr> <td>2024/1/1</td> <td style="background-color: yellow;">430,369</td> <td style="background-color: lightblue;">430,380</td> <td>11</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2025/1/1</td> <td style="background-color: lightblue;">429,351</td> <td style="background-color: lightblue;">430,170</td> <td>819</td> <td>0.19%</td> </tr> <tr> <td>2026/1/1</td> <td style="background-color: lightblue;">428,127</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※■(黄色)… 前年比増、■(水色)… 前年比減  人口減少に転じた年度については、推計よりも実態が1年早まっていますが、人口の乖離については、0~0.19%となっており、推計どおり人口が推移していると考えております。</p>		推計(人) (A)	実態(人) (B)	実態と予測の差 (B-A)	乖離(%) 1-(A)÷(B)	2021/1/1		429,152			2022/1/1	429,569	430,385	816	0.19%	2023/1/1	430,000	430,831	831	0.19%	2024/1/1	430,369	430,380	11	0	2025/1/1	429,351	430,170	819	0.19%	2026/1/1	428,127			
	推計(人) (A)	実態(人) (B)	実態と予測の差 (B-A)	乖離(%) 1-(A)÷(B)																																	
2021/1/1		429,152																																			
2022/1/1	429,569	430,385	816	0.19%																																	
2023/1/1	430,000	430,831	831	0.19%																																	
2024/1/1	430,369	430,380	11	0																																	
2025/1/1	429,351	430,170	819	0.19%																																	
2026/1/1	428,127																																				
4	管渠についてはコスト削減の内容に触れているので、他の項目についても、このような方法にすればいくら費用が削減できるなどわかるようにしてほしい。	本日(2月17日)の次第2で、「効率化・経営健全化の取組み」についてご説明します。																																			

ご意見・ご質問

市の考え方

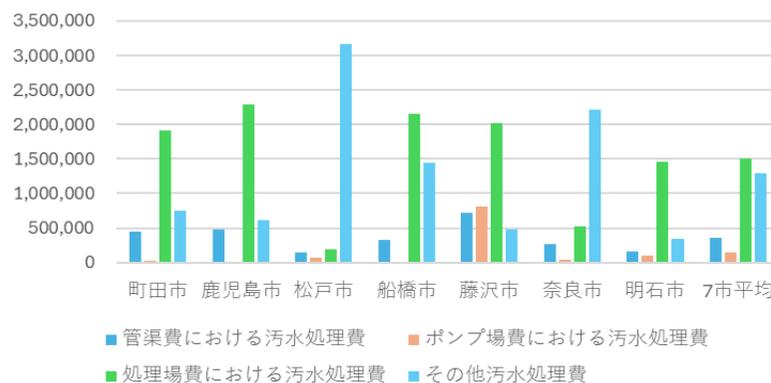
比較団体等の汚水処理費の内訳(動力費、修繕費など)がどのようになっているかについて分析した資料が欲しい。

類似団体6市との比較分析の結果は以下の通りです。  
 ※尚、下記汚水処理費については、維持管理費における各内訳となっています。

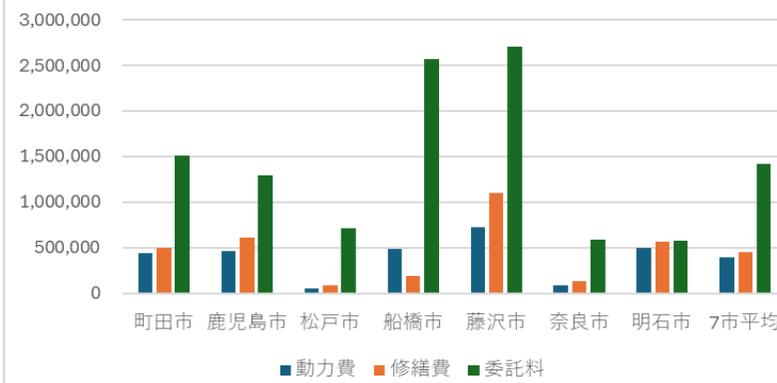
単位：千円

費用名 / 団体名	町田市	鹿児島市	松戸市	船橋市	藤沢市	奈良市	明石市	7市平均
管渠費における汚水処理費	450,886	472,920	150,464	319,432	720,226	259,283	167,689	362,986
ポンプ場費における汚水処理費	25,332	0	67,589	2,579	816,962	47,213	101,424	151,586
処理場費における汚水処理費	1,907,896	2,291,027	189,663	2,153,598	2,014,113	530,541	1,459,243	1,506,583
その他汚水処理費	749,124	611,151	3,171,689	1,450,210	484,707	2,221,298	345,947	1,290,589
動力費	440,838	465,822	50,177	489,185	722,622	90,057	495,429	393,447
修繕費	492,346	606,352	87,127	193,266	1,102,383	128,073	563,419	453,281
委託料	1,514,142	1,295,794	719,391	2,571,914	2,701,267	590,197	575,119	1,423,975

各汚水処理費の比較



動力費等の比較



5

管渠費における汚水処理費については、町田市は類似団体7市中、3番目に高い数値となりました。処理場費における汚水処理費については、町田市は類似団体7市中、4番目に高い数値となりました。維持管理費における汚水処理費全体でみると、町田市は類似団体7市中、5番目に高い数値となっており、他市と比較して、突出して汚水処理費が高いわけではないと考えます。尚、その他汚水処理費については、使用料徴収業務費などが含まれます。動力費については、町田市は類似団体7市中、5番目に高い数値となりました。修繕費については、町田市は類似団体7市中、4番目に高い数値となりました。委託料については、町田市は類似団体7市中、3番目に高い数値となりました。最も大きな割合を占める委託料が3番目に高い数値であるため、3つの経費の合計について、町田市は類似団体7市中、3番目に高い数値となりましたが、他市と比較して、突出して高い数値ではないと考えます。

ご意見・ご質問

市の考え方

各年度のキャッシュフローを作してほしい。

単位：百万円

年	度	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
A	当年度純利益	-	23	1,059	823	715	290	-64	190	150	-16	-137
B	資本的収支の不足額	-	-2,914	-3,007	-3,050	-2,932	-2,978	-3,049	-2,865	-2,959	-2,854	-2,816
C	A+Bの合計	-	-2,891	-1,948	-2,227	-2,217	-2,688	-3,113	-2,675	-2,809	-2,870	-2,953

■調整①（非現金調整等）

単位：百万円

年	度	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
D	減価償却費等	-	7,716	7,790	7,758	7,498	7,282	7,316	7,292	7,325	7,305	7,346
E	長期前受金戻入等	-	5,541	5,533	5,483	5,209	4,931	4,878	4,776	4,791	4,744	4,739
F	未収金	725	725	725	725	725	725	725	725	725	725	725
G	未払金	2,663	1,987	2,214	2,219	2,327	2,084	1,982	2,029	1,822	1,709	1,931
H	D-E-F+G	-	3,437	3,746	3,769	3,891	3,710	3,695	3,820	3,631	3,545	3,813

■調整②（予算から決算への調整（不用額調整））

単位：百万円

年	度	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
I	不用額調整	-	270	270	270	270	270	270	270	270	270	270

■現預金残高

単位：百万円

年	度	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
J	期首残高	-	2,187	1,065	1,871	2,194	2,645	2,334	1,828	1,985	1,774	1,622
K	上記C	-	-2,891	-1,948	-2,227	-2,217	-2,688	-3,113	-2,675	-2,809	-2,870	-2,953
L	前年度未収未払金の調整	-	-1,938	-1,262	-1,489	-1,494	-1,602	-1,359	-1,257	-1,304	-1,097	-984
M	調整①	-	3,437	3,746	3,769	3,891	3,710	3,695	3,820	3,631	3,545	3,813
N	調整②	-	270	270	270	270	270	270	270	270	270	270
O	期末残高	2,187	1,065	1,871	2,194	2,645	2,334	1,828	1,985	1,774	1,622	1,767

6

投資・財政計画表(前回資料3-1)の補助資料としての事業内容説明の資料(前回資料3-3)に金額が入っていると金額の規模感がよりわかる。資料同士のリンクがわかるようにしてほしい。

資料に対するご意見をありがとうございました。今後事業内容に関する資料を作成する際の参考とさせていただきます。

7